

大学生の本来感に影響を及ぼす要因の検討 (1)

— 自閉症スペクトラム傾向の高さによる比較 —

○土田弥生 (吉備国際大学大学院)

佐々木和義 (早稲田大学)

キーワード: エゴ・レジリエンス, 肯定的自動思考, ソーシャルサポート

問題と目的

自閉症スペクトラム症を背景に持つ子供たちは、学校生活において集団活動への困難さから、学校不適応となり不登校に陥りやすい (高田ら, 2015)。また定型発達の子供たちとの相違を外見から判断することの難しさから、不適切な対応を取られやすい。その二次障害として自己肯定感が低くなる、あるいはトラウマとなるような感情体験により、うつや不安障害、気分障害などを発症することがある (内山, 2004)。だが同じような状況の中においても適応度を高め、学校生活を送れる子供たちは、どのような力によって乗り越えることが出来ているのだろうか。そこで適応度を高め困難さを乗り越えてきたと考えられる大学生を対象とし、自己要因である認知とスキル、環境要因であるソーシャルサポートを独立変数とし、well-being としての本来感を従属変数として、その関係を明らかにすることで、臨床的介入の一助とすることを目的とする。

研究方法

(1) 調査協力者: 首都圏の大学に在学する 1～4 年生 147 名、中国圏の大学生 1～4 年生 174 名で合計 321 名 (男子 176 名, 女子 131 名), 年齢は 18 歳～25 歳, 実施時期は平成 27 年 6 月上旬～7 月中旬であった。

(2) 調査内容: ① 本来感尺度 (伊藤・小玉, 2005) (5 件法 7 項目) ② AQ-J-10: 栗田ら (2005) の AQ-J の 10 項目短縮版 (4 件法 10 項目) ③ Ego-Resiliency 尺度 (ER89) (畑・小野寺, 2013) (4 件法 14 項目) ④ 大学

生用ストレス自己評価尺度におけるコーピング尺度 (尾関, 1993) (4 件法 14 項目) ⑤ ソーシャルサポート尺度 (菊島, 1999) (5 件法 6 項目) ⑥ ATQ・RP (肯定的自動思考: Kendall et al., 1989; 児玉他, 1994) (4 件法 10 項目)

(3) 倫理的配慮: 質問紙配布の際, 研究参加は自由意思による同意に基づき, 質問紙への回答をもって調査参加への同意意思があると判断する, 個人の特定が出来る形で内容を公表しない旨を伝え, 同内容をフェースシートにも明記した。

結果と考察

① AQ 得点の性差: t 検定

$t(305)=8.32$ ($p<.01$) で, 男女間に有意な差が見られ, 男性の得点が有意に高かった。

② AQ のカットオフポイント 7 以上の割合

有効回答者数 307 名中 36 名が該当し, 割合は 11.73% であった。

③ 本来感得点の二要因分散分析結果 (Table)

本来感得点を従属変数とし, AQ 得点を 0～3 点を低群, 4～6 点を中群, 7 点 (カットオフポイント) 以上を高群とし, AQ (低群・中群・高群) × 上記尺度 ③④⑤⑥ 各要因 (低群・中群・高群) の二要因分散分析を行った。その結果, 各要因の主効果が有意であった。

大学生の well-being としての本来感に認知的要因であるエゴ・レジリエンスと肯定的自動思考, スキルであるコーピング, 環境要因であるソーシャルサポート (家族, 友人, 先生) が影響を及ぼしていることが示された。

Table 各要因における本来感得点と分散分析の結果

		AQ 低群 (n=159)			AQ 中群 (n=112)			AQ 高群 (n=36)			交互作用	主効果	F 値	多変量比較		
		低群	中群	高群	低群	中群	高群	低群	中群	高群				AQ	各要因	各要因
家族サポート	平均値	16.75	18.71	22.44	18.00	17.91	20.38	16.50	16.90	19.60		AQ	1.32	②<① n.s.	①<② n.s.	
	S D	5.80	5.21	5.47	4.56	4.00	6.65	4.49	4.75	6.69	n.s.	家族サポート	8.92 ***	③<① *	①<③ ***	
	N	32	56	71	30	35	47	16	10	10				③<② n.s.	②<③ **	
友人サポート	平均値	13.64	19.16	21.86	17.79	17.92	20.62	14.71	18.17	20.5		AQ	53	②<③ n.s.	①<② *	
	S D	5.37	5.41	5.65	5.39	4.13	6.20	5.03	3.86	5.52	n.s.	友人サポート	14.737 ***	③<① *	①<③ ***	
	N	11	77	71	29	38	45	14	12	10				③<② n.s.	②<③ ***	
先生サポート	平均値	19.08	19.5	23.00	17.72	18.75	21.29	15.25	17.52	20.8		AQ	2.65 †	②<① n.s.	①<② n.s.	
	S D	7.58	5.31	5.73	5.36	5.38	5.77	6.56	4.43	5.98	n.s.	先生サポート	5.52 **	③<① *	①<③ **	
	N	25	109	25	18	77	17	8	23	5				③<② n.s.	②<③ ***	
エゴ・レジリエンス	平均値	12.19	19.72	25.13	15.40	18.49	24.33	11.57	18.43	20.67		AQ	2.53 †	②<① n.s.	①<② n.s.	
	S D	4.26	5.18	3.87	5.91	4.97	3.54	3.95	4.21	5.68	n.s.	エゴ・レジリエンス	38.18 ***	③<① *	①<③ ***	
	N	16	113	30	15	80	15	7	23	6				③<② n.s.	②<③ ***	
肯定的自動思考	平均値	12.81	19.75	26.25	15.08	18.56	25.58	13.33	18.12	24.67		AQ	.40	②<① n.s.	①<② ***	
	S D	4.84	4.81	3.35	4.38	4.82	2.36	4.12	4.45	5.51	n.s.	肯定的自動思考	51.11 ***	③<① **	①<③ ***	
	N	21	110	28	25	68	19	9	24	3				③<② n.s.	②<③ ***	
コーピング	平均値	14.08	19.73	24.65	15.00	18.65	21.79	15.00	16.77	20.38		AQ	1.13	②<① n.s.	①<② ***	
	S D	6.02	5.32	5.36	5.35	5	6.23	12.73	4.44	5.66	n.s.	コーピング	12.95 ***	③<① *	①<③ ***	
	N	13	123	23	8	82	19	2	26	8				③<② n.s.	②<③ ***	

† $p<.10$ * $p<.05$ ** $p<.01$ *** $p<.001$